©ガーラフィルム／ノンデライコ



重江良樹 監督作品
（『さとにきたらええやん』）

ゆめパのじかん

「やってみたい」がいっぱいある。

飛騨市上映会

入場無料

2026年 11月29日(日)

古川町コミュニティセンター大会議室

第1部
12:30 開場
13:00 上映

人と人がつながると、未来はもっとあたたかくなる

第2部 14:50〜

高校生の活動発表

飛騨の朝つながる未来創造プロジェクト

不登校を経験した高校生たちが始めた、
子どもたちと地域をつなぐ活動。
その活動の内容や、
そこに込めた想いを発表します。



「高校生ボランティア・アワード2025」さだまさし賞
「第4回コノヒトカン 1000 缶プロジェクト」文部科学大臣賞

第3部 15:20〜

対話の時間

飛騨の未来について
一緒に語り合おう！



ファシリテーション
NPO法人ぐりん・はあと
理事長 近藤 聡氏

主催/ゆめパのじかん上映会実行委員会（問合せ：090-6613-6733・野村）
後援：飛騨市・飛騨市教育委員会・高山市教育委員会
この上映会は飛騨市やさしいまちづくり補助金を受けて開催します。

託児サービスあります
対象：0歳〜保育園年長
定員：6名

託児のお申込み

第1部　映画『ゆめパのじかん』の紹介



いまを生きるすべての子どもと、かつて子どもだった大人（あなた）に贈る、

生きる力を育む“じかん”



「ゆめパ」は子どもたちみんなの遊び場。約1万㎡の広大な敷地には、子どもたちの「やってみたい」がたくさん詰まっています。手作りの遊具で思いっきり遊ぶ子どもたち。一緒にどろんこになっている親子。くるくると踊る子。小さな子どもを連れた自主保育のグループ。ゆめパにはいつも子どもと子どもに関わる大人が集っています。
ゆめパの一角には「フリースペースえん」があり、学校に行っていない子どもたちが自分の「好き」をあたためています。安心して、ありのままの自分で過ごせる場所で、虫や鳥を観察したり、木工細工に熱中したり、ゴロゴロ休息したり。でも、新しい春を前に、一人の子が自身の将来を考え始め――。

子どもも大人もみんなが作り手となって生み出される「居場所の力」と、時に悩みながらも、自ら考え歩もうとする「子どもの力」を描き出したドキュメンタリー。

第2部

不登校を経験した高校生が、子どもたちの「外に出るきっかけ」をつくる。

飛騨の朝つながる未来創造プロジェクト



はずかしいけど、話しかけてみる。



やってみるとすごく楽しい！

「不登校を経験した自分たちだからこそ、できることがある。」そんな想いから始まった、高校生たちの取り組みです。フリースクールに通う子どもたちと一緒に、飛騨高山の宮川朝市に出店。子どもたちが地域の人や観光客と触れ合いながら、社会とつながる経験をつくっています。
「学校に行っていない」ことをマイナスに捉えるのではなく、まずは外に出て、人と出会い、自分の力を試してみる。そんな小さな一歩が、子どもたちの自信や新しい可能性につながっていきます。
当日は、活動を始めたきっかけや、子どもたちとの活動を通して感じたこと、そしてこれから実現したい未来について、高校生自身の言葉でお話しいただきます。

この活動は2025年、「高校生ボランティア・アワード」で最高位の「さだまさし賞」を受賞、さらに「コノヒトカン1000缶プロジェクト」では、文部科学大臣賞を受賞しました。



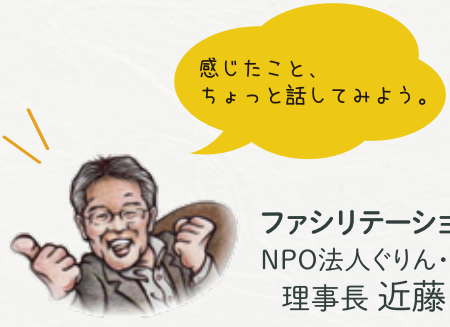
「高校生ボランティア・アワード」2025
さだまさし賞

「第4回コノヒトカン 1000 缶プロジェクト」
文部科学大臣賞

第3部

映画を観て、話を聞いて。その先を、みんなで考えてみませんか？

映画『ゆめパのじかん』や高校生の話を通して感じたこと、
子どもたちの居場所について思うこと、これからの飛騨について考えていること。
一人ひとりの感じたことを持ち寄り、みんなで語り合いながら、
飛騨の未来について一緒に考えます。



ファシリテーション
NPO法人ぐりん・はあと
理事長 近藤 聡氏